

月	《単元名・教材名》	時数	《単元目標》	観点別評価規準		
				知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4	よく聞いて、じこしょうかい	1	相手を見て話したり聞いたりし、学習課題に沿って、自己紹介をすることができる。	相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。	「話すこと・聞くこと」において、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいこと、の中心を捉えている。	積極的に相手を見て話したり聞いたりし、学習課題に沿って、自己紹介をしようとしている。
	どきん・つづけてみよう	1	◎文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。◎文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。	文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。	・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。 ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。	積極的に文章全体の構成や内容の大体を意識しながら、学習課題に沿って、楽しんで音読しようとしている。
	きつつきの商売	8	◎登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。	文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。	「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。	進んで登場人物の行動や気持ちを捉え、学習課題に沿って、読んで想像したことを伝え合おうとしている。
	図書館たんていだん	1	◎読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。	読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。		学習課題に沿って、図書館利用に関わることを進んで知ろうとしている。
5	国語辞典を使おう	2	◎辞書の使い方を理解し使うことができる。	・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。 ・辞書の使い方を理解し使っている。		学習課題に沿って、進んで辞書の使い方を理解し使おうとしている。
	漢字の広場①	2	◎第2学年までに担当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	第2学年までに担当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。	積極的に第2学年までに学習した漢字を確かめ、今までの学習をいかして、漢字を適切に使った文を作ろうとしている。
	春のくらし	2	◎語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。	語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。	「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。	積極的に語句の量を増やし、学習課題に沿って、その季節らしさを表現した文章を書こうとしている。
6	漢字の音と訓	2	◎第3学年までに担当されている漢字を読むことができる。	第3学年までに担当されている漢字を読んでいる。		今までの学習をいかして、進んで漢字の音と訓という考え方に興味をもち、よりよく漢字を学ぼうとしている。
	もっと知りたい、友だちのこと	6	◎必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいこと、の中心を捉え、自分の考えをもつことができる。	相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。	・「話すこと・聞くこと」において、日常生活の中から話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 ・「話すこと・聞くこと」において、必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいこと、の中心を捉え、自分の考えをもっている。	積極的に質問しながら聞くことで話し手が伝えたいことや自分が聞きたいこと、の中心を捉え、学習の見直しをもって、知らせたいことを話したり、知りたいことを質問したりしようとしている。
	漢字の広場②	2	◎第2学年までに担当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	第2学年までに担当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。	積極的に第2学年までに学習した漢字を確かめ、今までの学習をいかして、漢字を適切に使った文を作ろうとしている。
7	気持ちをこめて「来てください」	6	◎丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くことができる。 ◎相手や目的を意識して、伝えたいことを明確にすることができる。◎間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。	丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。	・「書くこと」において、相手や目的を意識して、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくらせて文章の構成を考えている。 ・「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。	相手や目的を意識して、伝えたいことを進んで明確にし、学習課題に沿って、丁寧な言葉を使って行事を案内する手紙を書こうとしている。
	言葉で遊ぼうこまを楽しむ【じょうほう】全体と中心	8	◎段落の役割について理解することができる。◎全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。 ◎段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる。	・段落の役割について理解している。 ・全体と中心など情報と情報との関係について理解している。	・「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。 ・「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけている。	進んで段落相互の関係に着目しながら内容を捉え、学習課題に沿って、読んで考えたことを文章にまとめようとしている。
	漢字の広場③	2	◎第2学年までに担当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	第2学年までに担当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。	積極的に第2学年までに学習した漢字を確かめ、今までの学習をいかして、漢字を適切に使った文を作ろうとしている。
7	まいごのかぎ	6	◎様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。 ◎登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像することができる。	様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。	・「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。 ・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。	積極的に登場人物の気持ちの変化を想像し、学習課題に沿って、物語の感想を書こうとしている。
	俳句を楽しもう	1	◎易しい文語調の俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。	易しい文語調の俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。		学習課題に沿って、易しい文語調の俳句を進んで音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しもうとしている。
	こそあど言葉を使いこなそう	2	◎指示する語句の役割について理解することができる。	指示する語句の役割について理解している。		学習課題に沿って、指示する語句の役割を積極的に理解し使おうとしている。
7	【じょうほう】引用するとき	3	◎引用のしかたや出典の示し方を理解し使うことができる。	引用のしかたや出典の示し方を理解し使っている。	「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。	積極的に引用のしかたを学び、学習課題に沿って、本などで調べたことを引用して文章を書こうとしている。
	仕事のくふう、見つけたよ【コラム】符号など	12	◎段落の役割について理解することができる。◎書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくらせたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。	・改行のしかたを理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。 ・段落の役割について理解している。 ・比較や分類のしかた、必要な語句などの書き留め方、引用のしかたを理解し使っている。	・「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくらせたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。 ・「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。	内容の中心が明確になるよう、積極的に書く工夫して文章の構成を考え、学習の見直しをもって、調べたことを報告する文章を書こうとしている。
	夏のくらし	2	◎語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。	語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。	「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。	積極的に語句の量を増やし、学習課題に沿って、その季節らしさを表現した文章を書こうとしている。
7	はじめて知ったことを知らせよう・鳥になつたきょうりゅうの話(5)	5	◎幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。	幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。	「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。	積極的に幅広く読書に親しみ、学習課題に沿って、本を読んで驚いたり感心したりしたことを発表しようとしている。

8・9	わたしと小鳥とすずと・夕日がせなかをおしてくる	2	◎文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。	文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。	・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。 ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。	友達との感じ方の違いに積極的に気づこうとし、学習課題に沿って、詩を読んで思ったことや感じたことを深めようとしている。
	山小屋で三日間すごすなら	3	◎比較や分類のしかたを理解し使うことができる。◎目的や進め方を確認して話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。	比較や分類のしかたを理解使っている。	・「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、集めた材料を比較したり分類したりしている。 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認して話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。	互いの意見の共通点や相違点に積極的に着目し、学習の見直しをもって、グループで話し合おうとしている。
	ポスターを読もう	2	◎文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。	比較や分類のしかたを理解使っている。	「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。	ポスターを読んで理解したことに基づいて、進んで感想や考えをもとうとし、学習課題に沿って、友達と伝え合おうとしている。
	へんとつくり	2	◎漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解することができる。	漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解している。		今までの学習をいかして、漢字のへんやつくりなどに関心を持ち、積極的に漢字の構成を理解しようとしている。
	ローマ字	4	◎日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書くことができる。	日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。		学習課題に沿って、粘り強くローマ字を読んだり書いたりしようとしている。
10	ちいちゃんのかげおくり	10	◎文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。	様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。	・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。 ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。	登場人物の気持ちの変化について、進んで場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、学習課題に沿って、物語を読んだ感想をまとめようとしている。
	修飾語を使って書こう	2	◎主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係について理解することができる。	・言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解している。 ・主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係について理解している。		今までの学習をいかして、修飾と被修飾の関係について理解しようとし、積極的に言葉の役割や性質を捉え直そうとしている。
	秋のくらし	2	◎語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。	語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。	「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。	積極的に語句の量を増やし、学習課題に沿って、その季節らしさを表現した文章を書こうとしている。
	はんで意見をまとめよう	8	◎目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。	様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。	・「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいく。 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。	進んで目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら、学習の見直しをもって、グループで話し合い、考えをまとめようとしている。
	漢字の広場④	2	◎第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えている。	積極的に第2学年までに学習した漢字を確かめ、今までの学習をいかして、漢字を適切に使った文を作ろうとしている。
11	すがたをかえる大豆【しょうぼう】科学読み物での調べ方・食べ物のひみつを教えます	15	◎比較や分類のしかた、辞書の使い方理解し使うことができる。◎自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。◎段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる。	・段落の役割について理解している。 ・考えとそれを支える理由や事例など、情報と情報との関係について理解している。 ・比較や分類のしかた、辞書の使い方を理解し使っている。 ・幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。	・「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。 ・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 ・「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。	積極的に考えとそれを支える理由や事例との関係などについて叙述を基に捉えたり、それらを明確にして書き表し方を工夫したりしようとし、学習の見直しをもって、文章の説明の工夫を見つけてそれをいかして書こうとしている。
	ことわざ・故事成語	4	◎長い間使われてきたことわざや故事成語の意味を知り、使うことができる。	長い間使われてきたことわざや故事成語の意味を知り、使っている。	「書くこと」において、目的を意識して、伝えたいことを明確にしている。	積極的にことわざや故事成語の意味を知ろうとし、学習課題に沿って、調べたことをまとめて書こうとしている。
	漢字の意味	2	◎漢字と仮名を用いた表記を理解して文や文章の中で使うことができる。	・漢字と仮名を用いた表記を理解して文や文章の中で使っている。 ・第3学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第3学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。		今までの学習をいかして、漢字と仮名を用いた表記を理解しようとし、積極的に文や文章の中で使おうとしている。
	短歌を楽しもう	1	◎易しい文語調の短歌を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。	易しい文語調の短歌を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。		学習課題に沿って、易しい文語調の短歌を進んで音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しもうとしている。
12	漢字の広場⑤	2	◎第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えている。	積極的に第2学年までに学習した漢字を確かめ、今までの学習をいかして、漢字を適切に使った文を作ろうとしている。
	三年とうげ	6	◎登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。	様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。	・「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。 ・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。	登場人物の気持ちの変化について、積極的に場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像しようとし、学習課題に沿って、物語を紹介しようとしている。
	たから島のぼうけん	10	◎書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。◎書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章の良いところを見つけることができる。	様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。	・「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。 ・「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えている。 ・「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章の良いところを見つけている。	積極的に構成を工夫しようとし、学習課題に沿って、物語を書こうとしている。
	冬のくらし	2	◎語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにすることができる。	語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにしている。	「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。	積極的に語句の量を増やし、学習課題に沿って、その季節らしさを表現した文章を書こうとしている。

1	詩のくふうを楽しもう	4	◎文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。	文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。	・「書くこと」において、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章の良いところを見つけている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。	進んで詩を読んで感想や考えをもととし、今までの学習をいかして、詩のおもしろさを紹介する文章を書いたり、詩を創作したりしようとしている。
	カンジーはかせの音訓かるた	2	◎第3学年までに担当されている漢字を読むことができる。また、第2学年までに担当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第3学年に担当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うことができる。	第3学年までに担当されている漢字を読んでいる。また、第2学年までに担当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第3学年に担当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。		今までの学習をいかして、漢字の音訓や送り仮名に着目し、漢字を適切に使った文を積極的に作ろうとしている。
	漢字の広場⑥	2	◎第2学年までに担当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	第2学年までに担当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認めたりして、文や文章を整えている。	積極的に第2学年までに学習した漢字を確認め、今までの学習をいかして、漢字を適切に使った文を作ろうとしている。
	ありの行列	7	◎文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(思・判・表◎文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。	指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。	・「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。 ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。	進んで一人一人の感じ方の違いに着目し、学習課題に沿って、科学読み物を読んだ感想を伝え合おうとしている。
2	つたわる言葉で表そう	5	◎言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。 ◎様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。	・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。 ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。	「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。	相手に伝わる文章を書くための語句を進んで増やして使い、学習課題に沿って、伝えたいことを文章にしようとしている。
	これがわたしのお気に入り	12	◎自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。◎書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章の良いところを見つけることができる。	様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。	・「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 ・「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認めたりして、文や文章を整えている。 ・「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章の良いところを見つけている。	自分の考えとそれを支える理由の関係を明確にして、進んで書き表し方を工夫し、学習の見直しをもって、紹介する文章を書こうとしている。
	コンピュータのローマ字入力	2	◎日常で使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書くことができる。	日常で使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。		今までの学習をいかして、粘り強くコンピュータを使ったローマ字入力に取り組み、簡単な単語を入力したり変換したりしようとしている。
	わたしたちの学校じまん	8	◎相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すことができる。◎相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考慮することができる。◎話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。	・相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。 ・丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら話している。 ・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。	・「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えている。 ・「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。	進んで言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意し、学習の見直しをもって、グループで練習し発表しようとしている。
3	モチモチの木	12	◎登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像することができる。 ◎文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。	様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。	・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。 ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。	登場人物の性格について場面の移り変わり結び付けて粘り強く想像し、学習の見直しをもって、感じたことや考えたことをまとめて友達と伝え合おうとしている。